



KT-11 株 化粧品用途での皮膚バリア機能効果確認

-日本農芸化学会 2021 年度大会にて発表-

株式会社キティーは、*Lactobacillus crispatus* KT-11 株の皮膚バリア機能についてヒト表皮角化細胞を用いて解析を行いました。

この研究成果について、日本農芸化学会 2020 年度大会にて発表いたしました。

【研究概要】

Lactobacillus crispatus KT-11 株 (KT-11) は、健康な乳幼児から分離された乳酸菌です。これまでに KT-11 は、食品としてアレルギー症状の改善作用を、化粧品としてヒアルロン酸産生促進作用や SOD2 発現促進作用、MMP-3 発現抑制作用などの皮膚機能改善作用を持つことが示されています。本研究では、KT-11 の化粧品としてのさらなる有用性を検討することを目的とし、KT-11 が皮膚のバリア機能に及ぼす影響についてヒト表皮角化細胞を用いて評価しました。

KT-11 を添加したヒト表皮角化細胞から total RNA を回収し、皮膚のバリア機能に関与する遺伝子の発現を評価したところ、タイトジャンクション構成タンパクである occludin、claudin4 の発現量増加が確認されました。さらに Transwell を用いた試験では、KT-11 の添加により経上皮電気抵抗値の増加が確認されました。

このことから、KT-11 はタイトジャンクション形成を促進し、皮膚バリア機能向上作用を有することが示唆されました。

<発表者情報>

講演番号: 2D02-15 発表日時: 3/19(金) 9:30 - 10:00 (コアタイム)

演題 「ヒト表皮角化細胞において *Lactobacillus crispatus* KT-11 が皮膚バリア機能に及ぼす影響」

発表者 ○星 芙美香¹、渡邊 樹¹ ¹株式会社キティー

<日本農芸化学会 2021 年度大会> <https://www.jsbba.or.jp/2021/>

主催: 日本農芸化学会 (JSBBA: <https://www.jsbba.or.jp/>)

日時: 2021 年 3 月 18 日(木)~21 日(日)

※本演題の発表はオンラインで行われます。詳細は日本農芸化学会のホームページよりご確認ください。

御問い合わせ: 株式会社キティー バイオ事業部

〒103-0023

TEL: 03-6457-7990

東京都中央区日本橋本町 1-6-1

FAX: 03-6457-7992

丸柏タマビル 4F

HP: <http://www.kitii.co.jp>